

みどりの風 NO.52

川柳

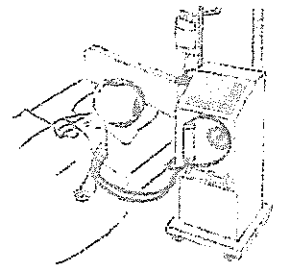
患者さんの顔見て知る 曜日 (看護師 大高亜矢子)

発行・編集責任 (緑風会会長 大矢正明)

生命予後のために、透析生活ではスタッフ任せでなく 自己管理が大切です その3

透析が効果的に行われているかを自分で確認する血液検査結果

- ヘマトクリット(Ht) : 30%~35% (元気さの度合い)
血液中の赤血球の占める割合(%)を表し、貧血の程度を示します。
減少すると出血しやすくなります。アレルギーで増加することがあります。
- 白血球数 : 3000~9700
増加するとどこかに感染症が疑われます。
- 赤血球数 : 300~350
透析患者は赤血球が減少し、貧血になります。



災害時に備えて

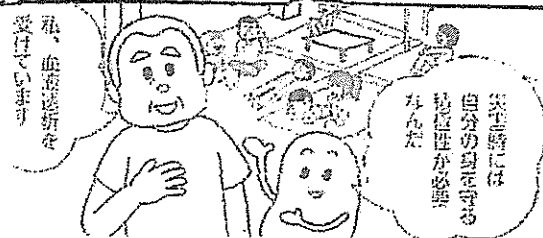
最近異常気象の関係で災害が発生し、自分が通院しているクリニックで透析が不能になり他病院で透析治療となった時、必ず必要なのが**透析情報カード**です。

他施設で臨時透析が必要な場合、このカードに記載してありますので忘れずに持って行ってください。なかでも、ドライウエイト(基礎体重)は最も重要ですので、できれば普段から記憶しておいてください。

◎災害カード

- ドライウエイト
- 氏名、年齢
- アレルギーの有無
- 感染症の有無
- 処方されている薬
- 人工血管の血流方向
- 当院の名前、連絡先

避難場所では必ず避難所のスタッフに、自分が透析患者であることを伝えて下さい。



こんな症状が出たら要注意

- ◆熱がでた(感染症) ◆息苦しい、手足のむくみ(心不全兆候) ◆頭痛、吐き気、体全体がだるい(尿毒症)、◆力が出ない、口や手足がしびれる、不整脈(高カリウム症)
- ◆シャントの異常(シャントの音がなくなる、腫れる、赤くなる) = 先日発行された「透析新聞」が詳しく参考になります。

(太田メディカルクリニック発行「災害ガイドブック」より参考)